

CORONA REPORT

つぎの快適をつくろう。

CORONA

第73期

中間報告書

2020.04.01~2020.09.30

証券コード：5909

中期経営計画で掲げた「コロナブランドの拡大と進化」に向け、 事業戦略と機能戦略の取り組みを進めました。

■ 当第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受けて停滞していた社会経済活動が徐々に再開し、弱いながらも個人消費が持ち直すなどの動きがありました。依然として厳しい状況が続きました。

住宅関連機器業界においては、新設住宅着工戸数や新規受注が減少したほか、一部住宅設備機器の供給に遅れが出るなど、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響がみられました。

このような状況の中、当社グループは第8次中期経営計画のもと、「コロナブランドの拡大と進化」を推進キーワードに、基本戦略「既存販売チャネルでの事業領域拡大」「空調メーカーとしてのポジション構築」「持続的成長のための機能・基盤強化」に基づいた事業戦略・機能戦略の取り組みを進めました。

事業戦略では、既存の販売チャネルを最大限に活用するための商品カテゴリー拡大やラインアップ拡充、提供価値拡大に向けた商品開発や協業などビジネスチャンスの拡大に取り組んだほか、IoT技術を活用した商品・サービスの強化として、「コロナ快適ホームアプリ」のサービスを開始しました。また、

ルームエアコンをはじめとした空調・家電機器の開発や生産、販売活動強化に向けて、組織横断的に取り組みを進めました。

機能戦略では、ブランディングの推進や顧客接点の強化、管理間接業務の生産性向上、物流配送機能の最適化を進めるとともに、それらの活動を支える組織や人材育成の取り組みを進めました。



代表取締役社長
小林 一芳

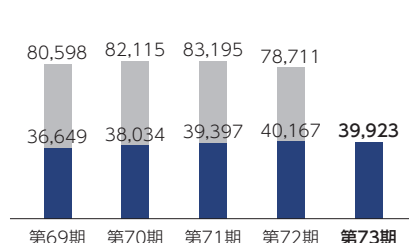
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,923百万円(前年同四半期比0.6%減)となりました。利益面については、営業利益は37百万円(前年同四半期比87.4%減)、経常利益は196百万円(前年同四半期比54.9%減)となりました。また、株価下落により投資有価証券評価損を特別損失に計上したことなどが影響し、親会社株主に帰属する四半期純損失は133百万円(前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益302百万円)となりました。

第2四半期業績ハイライト

売上高の推移(連結)

(単位：百万円)

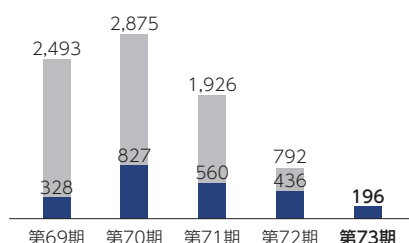
■ 第2四半期 ■ 通期



経常利益の推移(連結)

(単位：百万円)

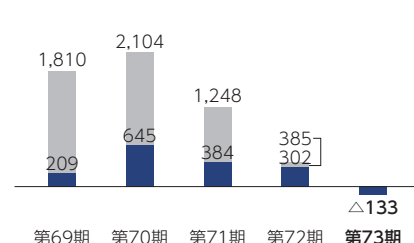
■ 第2四半期 ■ 通期



親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益の推移(連結)

(単位：百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期





コロナのブランディング

この四角形は、お客様と当社をつなぐ窓。
窓の向こう側には、お客様の快適な暮らしが見える。
窓のこちら側は、快適とは何かを考え、開発する社員がいます。
お客様と共に、つぎの快適をつくるイメージをカタチにしました。

BRAND LOGO

コーポレートブランドロゴ

CORONA

BRAND SLOGAN

ブランドスローガン

つぎの快適をつくろう。

BRAND STATEMENT

ブランドステートメント

快適とは、なにか。
それは、温度や湿度にとどまらない。
ココロとカラダが望むものすべて。
そこには、無限の可能性がある。
私たちの未来がある。
さあ、つぎの快適をつくろう。
今までの常識に捉われず。
培ってきた技術と経験を注ぎ。
考えよう。追究しよう。開発しよう。
暮らしをもっと豊かにするために。

BRAND MOVIE

ブランドムービー

ブランドムービー
はコチラ



社名コロナの由来

創業者である内田鐵衛は、在学していた東京電機学校（現在の東京電機大学）で実験中によく見たコロナ放電の発光色と、石油コンロの研究中に暗がりで見つめたコンロの青い炎が似ていることに気づきました。

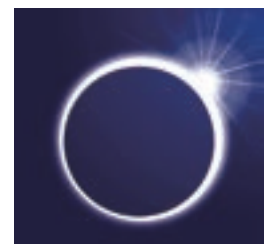
これに太陽の周囲に現れるコロナのイメージを重ね合わせ、石油燃焼機器を象徴的に表現し、かつ覚えやすく親しみやすいブランド名として1935年に「コロナ」と名付けました。



石油コンロの青い炎



「コロナ」の商標登録（1935年）



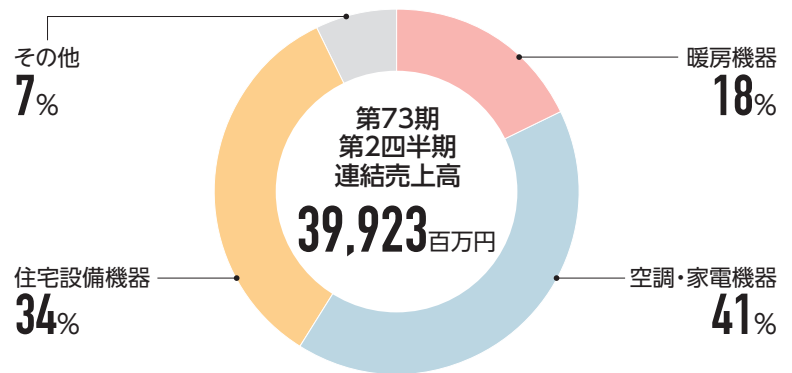
太陽の周囲に現れるコロナ（イメージ）

第2四半期製品種類別情報

当第2四半期の連結売上高構成比は、暖房機器18%、空調・家電機器41%、住宅設備機器34%、その他7%でした。

当社グループは、通年商品の住宅設備機器のほか、夏季に需要の多いルームエアコンを中心とした空調・家電機器と冬季に需要の多い暖房機器を取り扱っているため、業績に季節的変動があります。売上高及び利益は、暖房機器の割合が高い第3四半期に増加する傾向にあります。

製品種類別売上高構成比



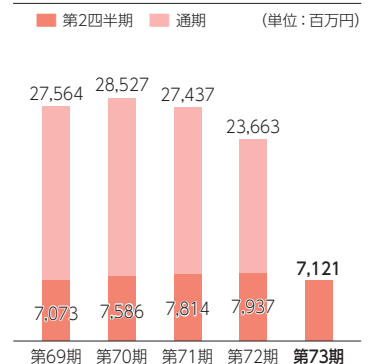
暖房機器

暖房機器の売上高は、7,121百万円(前年同四半期比10.3%減)となりました。

需要期に向けて、新製品である寒冷地向け石油暖房機「FIRNEO (フィルネオ)」、石油ファンヒーターや遠赤外線電気暖房機などの提案活動を行いました。記録的な残暑の影響を受けました。また、昨年は消費増税前の駆け込み需要が発生し、販売が前倒しに進んだこともあり、暖房機器全体は前年同四半期を下回りました。



暖房機器の売上高推移(連結)



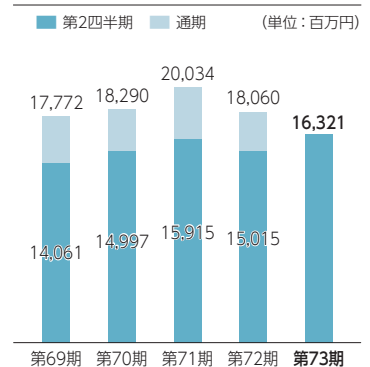
空調・家電機器

空調・家電機器の売上高は、16,321百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。

ルームエアコンは需要期の天候不順等があったものの、初夏の気温上昇や販売店による早期提案、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う在宅時間の増加などもあり、販売が順調に推移しました。また、セパレートタイプに比べ設置の自由度が高く、工事が不要なウインドタイプが好調に推移し、ルームエアコン全体は前年同四半期を上回りました。また、除湿機は本格的な梅雨の到来に加え、部屋干し需要の増加などもあって前年同四半期を上回り、空調・家電機器全体は前年同四半期を上回りました。



空調・家電機器の売上高推移(連結)



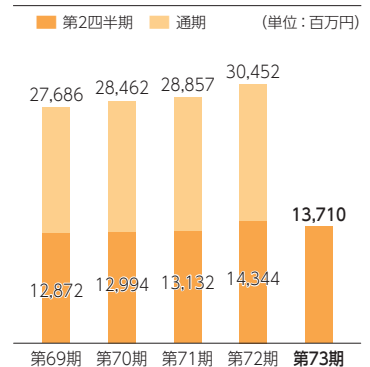
住宅設備機器

住宅設備機器の売上高は、13,710百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

主力商品であるエコキュートは、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及や買い替え需要が拡大する中、業界トップクラスの省エネ性能である最上位機種を軸に販売活動を進めたことで、順調に推移しました。また、空気清浄・除菌等の機能を備えた多機能加湿装置「ナノフィール」などのアクアエア商品も好調に推移しました。しかし、昨年は消費増税前の駆け込み需要が発生したほか、今年は新型コロナウイルス感染症の影響から展示商談会等のイベント中止が相次ぎ、給湯システムなどの販売活動が停滞したことも影響し、住宅設備機器全体は前年同四半期を下回りました。



住宅設備機器の売上高推移(連結)



新型コロナウイルス感染症の拡大による影響

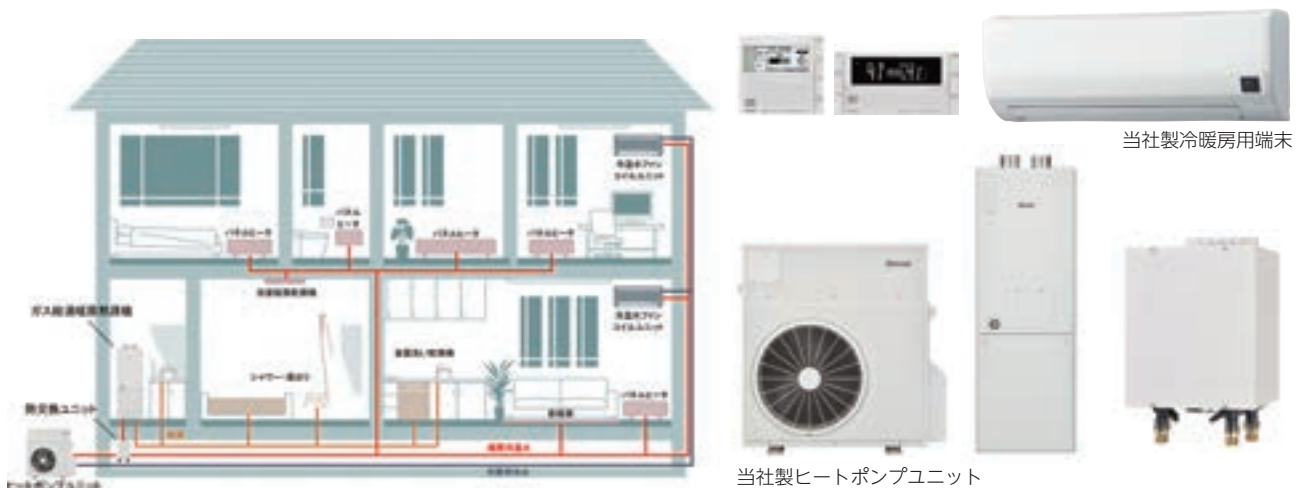
新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループへの影響につきましては、在宅時間の増加などによりルームエアコンなどの販売が順調に推移した一方で、緊急事態宣言解除後も展示商談会等のイベントや訪問営業において一部制限が続き、一部商品の販売に影響が生じましたが、当第2四半期連結累計期間の業績への影響は軽微であります。

ESGへの取り組み

E：電気×ガス、業界初のハイブリッド冷暖房・給湯システムを共同開発

当社はリンナイ株式会社（名古屋市）とエア・ウォーター北海道株式会社（札幌市）と共同で、省エネ性の高い寒冷地向けのハイブリッド冷暖房・給湯システムを開発し、来年4月の製品化を目指します。

時間帯や外気温に応じて最も効率が高くなるようにヒートポンプとガスを組み合わせて運転するとともに、冷水による冷房機能も備えた業界初のシステムとなる予定です。当社はエコキュートやエアコン等で培った技術を生かし、ヒートポンプユニットと冷暖房用端末の開発を担当します。

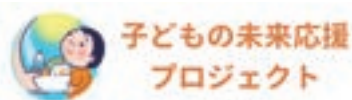


S：子どもの未来応援プロジェクト支援の取り組み

当社グループは、新潟県フードバンク連絡協議会が運営している「子どもの未来応援プロジェクト」*を支援しています。支援金の拠出のほか、猛暑が予想された今夏には計100台のルームエアコンの寄付を行いました。今後も本業を通じた社会貢献活動を推進します。

なお、従業員から家庭にある食品を募集し提供するフードドライブを定期的実施しています。

*「子どもの未来応援プロジェクト」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済的、社会的に困難な状況にあるひとり親家庭をフードバンク活動で支援するプロジェクトです。



1 2020年 暖房機器

2020年モデル石油ファンヒーターは、当社の特徴である“省電力”設計はそのままに、通常点火時間を従来の約75秒から約55秒に短縮し、点火までにかかる消費電力量を約30%低減しました。(2020年モデルFH-WZ3620BY、VX3620BYにおいて)

また、石油ファンヒーター「VXシリーズ」と遠赤外線電気暖房機「コアヒート」は「空間やインテリアとの調和」「暮らしに溶け込むデザイン」をコンセプトにデザインを刷新しています。



2 寒冷地向けFF式石油暖房機「FIRNEO(フィルネオ)」を新発売

8月から発売した寒冷地向けFF式石油暖房機「フィルネオ」は、ストーブ前面に効率よく熱を集める新設計の遠赤外線ドーム構造を採用しました。従来製品に比べ遠赤外線の輻射面積を約30%拡大したことで遠赤外線輻射量を大幅に高めるとともに、エネルギー消費効率も87%に向上しました。薄型設計により室内空間を有効活用できるほか表示部の文字高さを約30%拡大するなど、使いやすさにもこだわった暖房機です。

フィルネオ
FIRNEO



3 エコキュートがキッズデザイン賞を受賞

子どもが安全に使えるものづくりを推進しようと企業や自治体などで作るNPO法人キッズデザイン協議会(東京)が、優れた製品や取り組みを表彰する「キッズデザイン賞」を、当社エコキュートが受賞しました。

受賞製品は、ママ開発者が実際の体験をもとに提案した「ふる自動一時停止」機能など、子育てで家族の入浴をサポートする機能が搭載されています。



会社概要／株式情報

■ 会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社コロナ
本社 〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号
TEL.0256-32-2111(大代表)
代表者 代表取締役社長 小林 一芳
創業 1937年4月
会社設立 1950年7月
資本金 74億4,960万円
事業内容 暖房機器、空調・家電機器、住宅設備機器の製造販売
連結従業員数 2,335名
工場 三条工場、柏崎工場、長岡工場
全国営業拠点 68ヶ所
連結子会社 12社
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

■ 役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役会長	内田 力	取締役	内田 高志
代表取締役社長	小林 一芳	取締役	塩田 清貴
専務取締役	関谷 伸一	取締役	稲田 昭弘
常務取締役	渋谷 英晴	取締役	高木 修哉
常務取締役	内田 衛	取締役(監査等委員・常勤)	松平 文隆
常務取締役	大桃 満	取締役(監査等委員・社外)	丸山 結香
取締役	小池 仁	取締役(監査等委員・社外)	小出 忠由
取締役	西山 昭彦		

■ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式総数	29,342,454株
株主数	8,131名

■ 大株主 (2020年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社コロナ興産	11,057	37.82
公益財団法人 内田エネルギー科学振興財団	2,359	8.07
コロナ社員持株会	1,056	3.61
株式会社第四銀行	1,021	3.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	715	2.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	633	2.17
内田 力	378	1.30
外山産業株式会社	365	1.25
嶋山 ミツ子	316	1.08
株式会社北越銀行	296	1.01

(注) 持株比率は自己株式(101,236株)を控除して計算しております。

株主優待

クオカード贈呈による株主優待を実施しています。毎年3月31日現在の株主名簿に記載されている株主様を対象に、贈呈させていただきます。



※デザインはイメージです。

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様に対し、以下の基準で贈呈させていただきます。(年1回)

100株以上500株未満	500円
500株以上1,000株未満	1,000円
1,000株以上5,000株未満	3,000円
5,000株以上10,000株未満	5,000円
10,000株以上50,000株未満	8,000円
50,000株以上	10,000円

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
その他必要があるときはあらかじめ公告して定めます。

配当の基準日 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部
公告方法 当社のホームページ
(<https://www.corona.co.jp/>)に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

証券コード 5909

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 (フリーダイヤル)0120-288-324

株式に関する手続きのお問合せ先

証券会社に口座を開設されている株主様

▶ 口座を開設されている証券会社にご連絡ください。

証券会社に口座を開設されていない株主様(特別口座の株主様)

▶ みずほ信託銀行 証券代行部
TEL 0120-288-324
(フリーダイヤル)

IR情報詳細は
コチラ



適切に管理された森林からの原料を含むFSC®認証紙と植物油インキで印刷しています。

